

琉球大学学術リポジトリ

心房細動に対するカテーテルアブレーションにおける fluoroscopy image integration module 導入前後の放射線被ばくと手技時間の比較

メタデータ	言語: en 出版者: 琉球大学 公開日: 2022-06-14 キーワード (Ja): キーワード (En): Radiation exposure, Procedure time, Atrial fibrillation, Pulmonary vein isolation, cavotricuspid isthmus 作成者: 矢島, 真知子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002018038

(別紙様式第3号)

論 文 要 旨

論 文 題 目

Comparing radiation exposure and procedure time before and after
a fluoroscopy image integration module installation for atrial fibrillation ablation

(心房細動に対するカテーテルアブレーションにおける
fluoroscopy image integration module 導入前後の放射線被ばくと手技時間の比較)

氏 名 矢島 真知子

8.8cm	、	体	重	69.4	±	15.9kg	/	64.7	±	13.2kg	で	あ	っ	た	。	女	性		
の	割	合	が	、	non-IIM	群	よ	り	IIM	群	で	有	意	に	高	か	っ	た	
が	、	そ	れ	以	外	の	患	者	背	景	に	両	群	間	で	大	き	な	差
は	な	か	っ	た	。	左	房	マ	ッ	ピ	ン	グ	時	間	は	non-IIM	群	/	
IIM	群	、	中	央	値	32:00	[分	:	秒](四	分	位	範	囲	26:00-		
37:15)	/	30:00	(27:00-34:15)	; p=0.90	、	シ	ー	ス	挿	入	後	か	ら	ABL				
開	始	ま	で	の	時	間	は	51:00	(43:45-65:15)	/	45:00	(40:00-54:30)	; p=0.05				
で	有	意	差	を	示	さ	な	か	っ	た	が	、	肺	静	脈	隔	離	時	間
と	合	計	カ	テ	ー	テ	ル	ア	ブ	レ	ー	シ	ョ	ン	時	間	、	入	退
室	時	間	が	IIM	群	で	有	意	に	短	縮	さ	れ	た	(p<0.05)	。	合		
計	透	視	時	間	は	36:53	[分	:	秒](24:55-54:47)	/	24:26	(18:07-35:03)	; p<0.05		
、	肺	静	脈	隔	離	透	視	時	間	24:18	(16:48-32:43)	/	17:41					
(14:20-22:58)	; p<0.05	、	合	計	照	射	線	量	(正	面)	[mGy]	125.73				
(73.92-217.04)	/	73.73	(48.17-122.92)	; p<0.05	、	合	計	照	射	線	量	(側				
面)	150.36	(76.36-251.54)	/	80.43	(38.84-150.95)	; p<0.05	、	肺	静	脈	隔	離				
照	射	線	量	(正	面)	93.73	(59.98-165.72)	/	56.52	(42.39-91.71)	; p<0.05	、			
肺	静	脈	隔	離	照	射	線	量	(側	面)	95.35	(57.31-182.08)	/	52.59		
(31.09-98.28)	; p<0.05	で	あ	り	、	IIM	群	で	透	視	時	間	と	照	射	線		
量	は	有	意	に	減	少	し	た	。	下	大	静	脈	-	三	尖	弁	輪	間
峡	部	ブ	ロ	ッ	ク	ラ	イ	ン	作	成	に	お	い	て	は	、	透	視	時

